



狂言
第三十七回

やるまい会

東京公演

一 空 腹
二 舟 渡 舳
三 禰 宜 山 伏

親の心・子の思い
～親子共演三題～

喜多能楽堂

東京都品川区上大崎四丁目6-9
Tel.03(3)491-8813

2022年

12月17日(第3土曜)

12時15分開場 / 13時開演 / 15時終演予定



コロナウイルスの感染予防・蔓延抑制に御協力下さい

親の心・子の思い 親子共演三題

番組

解説 鑑賞の手引き

野口 隆行

狂言 空 腹

男 野村又三郎
何 野村 信朗

後見 野口 隆行

休憩二十分

狂言 舟 渡 舳

渡守 奥津健太郎
年 奥津健一郎
姑 藤 波 徹

後見 伴野 俊彦

狂言 禰 宜 山 伏

山伏 野口 隆行
伊勢の御師 野村又三郎
茶屋 松田 高義
大黒天 野口 楓子

後見 伴野 俊彦

(終演予定 午後三時頃)

曲目紹介

空 腹 そらはら

とある大晦日、今年も家計が厳しく年越しもままならない男は、方々の知人の所に金の無心に駆けずり回ってみたものの貸してくれない人は見付からず、無理を承知で返済の滞っている何某宅へ恥を忍んで出向きます。しかし、流石の何某も返済をしない上での度重なる無心に業を煮やして「歳に注連縄を張ってしまつた」と断ります。とは言え、手ぶらでは帰れない男も引き下がるわけにもいかず、文字通り決死の覚悟で一計を案じます。

※狂言方 和泉流野村派にのみ番外狂言として伝承されていたものの、関東大震災や第二次世界大戦の空襲等を経る間に台本が消失・焼失してしまい、幻の曲として名前だけが残っていました。資料が発見された事で、野村派十四世当主の手により本年九月国立能楽堂特別公演での復曲初演の運びとなった曲の再演となります。

舟 渡 舳 ふなわたしむこ

戻り舟の客を待つ琵琶湖の渡守の舟に、京辺土の若者が最上吉日を選んでの舳入りをするべく、湖南西の石場ノ渡(滋賀大津)から東の矢橋ノ渡(同草津)へ渡るために乗り合わせます。ところが、無類の酒好きの渡守は若者が舅への手土産に持参した酒樽に目を付けて、あれやこれやと理屈を並べ「酒を吞ませる」とせびりはじめます。

※舳入りとは、結婚後に妻の実家へ挨拶に行き、舅と親子の契りを結ぶ中世の儀式です。

禰 宜 山 伏 ねぎやまぶし

信者への挨拶回りで都に上る物腰柔らかな伊勢神宮の御師と、奈良の大峰山・葛城山での修行を終え本國出羽山に帰る道中の短気で強引な山伏が、偶然街道の茶屋で相席となり、互いの信仰の尊さを主張して言い争いになります。そこで仲裁に入った茶屋が「木彫りの大黒を祈って、影向した方を勝ちにしよう」と提案します。

※御師とは、特定の神社に所属して、その信者や参詣者の参拝・宿泊等の世話をする神職の事です。

御 挨拶

毎年開催させて頂いており、今年も「狂言やるまい会東京公演」も本年第三十七回を数える事となりました。今年には「親の心・子の思い 親子共演三題」と題しまして、野村又三郎と昨年能楽師狂言方としての元服を済ませました信朗による復曲狂言「空腹」、奥津健太郎と今年の春に国立東京藝術大学に入学しました健一郎による鞆物狂言の傑作「舟渡舳」、そして野口隆行と本会では初御目見得となる小学校四年生の楓子を起用しての、現代にも通じる宗教論争を扱った「禰宜山伏」という、一門の三組の親子で構成した番組でお楽しみ頂きます。

和泉流野村派の伝書には流内の宗家・他家に伝承されていない番外曲が六番有ると記されており、その内「善意」と「越後聲」の二番は完全な台本が手許に有り、上演歴もありました。

しかし、残る四番については台本が失われた状態でしたが、師父の存命中に資料が見付かり、平成十一年に「浦島」を復元する事ができ、更に内容すら判然としていなかった「空腹」の資料を一門の野口が見付けてくれたお陰で、幻の番外狂言の復元第二弾を実現する運びとなりました。

皆様の御鑑賞・御感想を心よりお待ちしております。会主 野村又三郎

注 意 事 項

◆開演後の客席内外への入退場及び未就学児童の入場は、上演の妨げとなる場合があるため、原則御遠慮頂いております。

◆客席内での携帯電話・メール等の利用および飲食・喫煙は一切禁止となっておりますので御理解と御協力をお願いいたします。

◆公演中の撮影・録画・録音等は著作権・肖像権等の法律に抵触するのみならず、他のお客様の御迷惑になる場合があるため、主催者により許可された者以外は一切禁止となっておりますので、御理解と御協力をお願いします。

◆会場内における盗難等については、主催者および能楽堂は責任を負いかねますので、各自での管理をお願いします。その他、公演の妨げや他のお客様の御迷惑になる行為をされるなど主催者側で判断した場合、御退場頂く場合がございますので、予め御諒承下さい。